

令和 5 年度 病院事業決算状況

都道府県名 山口県

総務省

- 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ
-	県立総合医療センター	2
-	県立こころの医療センター	3
下関市	中央病院	4
下関市	豊浦病院	5
下関市	豊田中央病院	6
萩市	市民病院	7
岩国市	岩国市立錦中央病院	8
岩国市	岩国市立美和病院	9
光市	光市立光総合病院	10
光市	光市立大和総合病院	11
美祢市	市立病院	12
美祢市	美東病院	13
周南市	市民病院	14
山陽小野田市	山陽小野田市民病院	15
周防大島町	周防大島町立東和病院	16
周防大島町	周防大島町立大島病院	17

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				山口県	
市町村・組合名					
病院名		県立総合医療センター			
施設及び業務概況等					
法適用区分		特殊診療機能			
病院区分		不採算地区病院			
建物面積	- ㎡	不採算地区中核病院			
診療科数	-	指定病院の状況			
許可公営企業		看護配置			
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	500床以上		
損益計算書(千円・%)					
区分		決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益		4,919			
1 経常収益		4,919			
(1) 医業収益		-			
(うち修正医業収益)		-			
入院収益		-			
外来収益		-			
診療収入計		-			
繰延運営権対価収益		-			
運営権者更新投資収益		-			
その他医業収益		-			
(うち他会計負担金)		-			
(2) 医業外収益		4,919			
(うち国・都道府県補助金)		-			
(うち他会計補助・負担金)		-			
(うち長期前受金戻入)		-			
(うち資本費繰入収益)		-			
(3) 特別利益		-			
(うち他会計繰入金)		-			
総費用		4,919			
2 経常費用		4,919			
(1) 医業費用		-			
職員給与費		-	-	58.7	51.4
材料費		-	-	26.9	32.6
(うち薬品費)		-	-	14.8	18.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)		-	-	11.7	13.9
減価償却費		-	-	8.5	7.4
経費		-	-	21.5	16.9
(うち委託料)		-	-	11.5	10.0
研究研修費		-			
資産減耗費		-			
(2) 医業外費用		4,919			
(うち支払利息)		4,919	-	0.9	0.8
(3) 特別損失		-			
損益	経常損益	-			
	純損益	-			
累積欠損金		-			
経常収支比率		100.0		96.5	97.6
医業収支比率		-		86.0	91.7
修正医業収支比率		-		83.2	89.8
他会計繰入金対経常収益比率		-		11.5	7.2
他会計繰入金対医業収益比率		-		13.7	8.1
他会計繰入金対総収益比率		-		11.5	7.2
実質収益対経常費用比率		100.0		85.4	90.5
備考： 「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。					
特殊診療機能欄 指定病院の状況欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 ヘ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院					
病床利用率・平均在院日数(％・日)					
区 分	病 床 数	令 和 5 年 度	令 和 4 年 度	令 和 3 年 度	
一 般	-	-	-	-	
療 養	-	-	-	-	
結 核	-	-	-	-	
精 神	-	-	-	-	
感 染 症	-	-	-	-	
計	-	-	-	-	
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-	
貸借対照表(千円)					
区 分				決 算 額	
資 産 合 計				-	
1 固 定 資 産				-	
(1) 有 形 固 定 資 産				-	
(2) 無 形 固 定 資 産				-	
(3) 投 資 そ の 他 の 資 産				-	
2 流 動 資 産				-	
(1) 現 金 及 び 預 金				-	
(2) 未 収 金 及 び 未 収 収 益				-	
(3) 貸 倒 引 当 金 ()				-	
(4) 貯 蔵 品				-	
3 繰 延 資 産				-	
負 債 合 計				-	
1 固 定 負 債				-	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				-	
(2) そ の 他 の 企 業 債				-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) そ の 他 の 長 期 借 入 金				-	
(5) 引 当 金				-	
(6) リ ー ス 債 務				-	
2 流 動 負 債				-	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				-	
(2) そ の 他 の 企 業 債				-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) そ の 他 の 長 期 借 入 金				-	
(5) 引 当 金				-	
(6) リ ー ス 債 務				-	
(7) 一 時 借 入 金				-	
(8) 未 払 金 及 び 未 払 費 用				-	
(9) 前 受 金 及 び 前 受 収 益				-	
3 繰 延 収 益				-	
(1) 長 期 前 受 金				-	
(2) 長 期 前 受 金 収 益 化 累 計 額 ()				-	
(3) 繰 延 運 営 権 対 価				-	
(4) 繰 延 運 営 権 対 価 収 益 化 累 計 額 ()				-	
(5) 運 営 権 者 更 新 投 資				-	
(6) 運 営 権 者 更 新 投 資 収 益 化 累 計 額 ()				-	
資 本 合 計				-	
1 資 本 金				-	
2 剰 余 金				-	
(1) 資 本 剰 余 金				-	
(2) 利 益 剰 余 金				-	
負 債 ・ 資 本 合 計				-	
不 良 債 務				-	
実 質 資 金 不 足 額				-	
資 本 不 足 額 ()				-	
資本不足額(繰延収益控除後) ()				-	
備 考				当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。	
設立団体の状況					
人 口 (人)		1,342,059			
決 算 規 模 (千円)		678,580,641			
標 準 財 政 規 模 (千円)		377,054,808			
財 政 力 指 数		0.43070			
経 常 収 支 比 率 (%)		89.1			
健全化 判断比率	実 質 赤 字 比 率 (%)	-			
	連結実質赤字比率 (%)	-			
実 質 公 債 費 比 率 (%)		8.8			
将 来 負 担 比 率 (%)		170.6			
他会計からの繰入状況(千円)					
区 分		基 準 額	実 繰 入 額		
収 益 勘 定 繰 入		-	-		
資 本 勘 定 繰 入		-	-		
計		-	-		
不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移					
年 度	不 良 債 務 額 (千円)	不 良 債 務 比 率 (%)			
令和5年度	-	-			
令和4年度	-	-			
令和3年度	-	-			
資金不足等の状況					
累 積 欠 損 金 比 率 (%)		-			
健 全 化 法 上 の 資 金 不 足 額 (千円)		-			
健 全 化 法 上 の 資 金 不 足 比 率 (%)		-			
地 財 法 上 の 資 金 不 足 額 (千円)		-			
地 財 法 上 の 資 金 不 足 比 率 (%)		-			
備考： ・修正医業収益とは、医業収益から その他医業収益のうちの他会計負担金を 除いたもので、修正医業収支比率とは、 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に 占める割合をいう。 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、 「健全化法上の資金不足額」、 「健全化法上の資金不足比率」、 「地財法上の資金不足額」、 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で 算出している。 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の 財政構造の弾力性を判断するための指標で、 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に 支出される経費(経常的経費)に充当された 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債 の合計額に占める割合をいう。					

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				山口県	
市町村・組合名					
病院名		県立こころの医療センター			
施設及び業務概況等					
法適用区分		特殊診療機能			
病院区分		不採算地区病院			
建物面積	- ㎡	不採算地区中核病院			
診療科数	-	指定病院の状況			
許可公営企業		看護配置			
D P C 対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	精神病院		

特殊診療機能欄		ド...人間ドック	透...人工透析	I...ICU・CCU	未...NICU・未熟児室	訓...運動機能訓練室	ガ...ガン（放射線）診療
指定病院の状況欄		救...救急告示病院	臨...臨床研修病院	が...がん診療連携拠点病院	感...感染症指定医療機関	へ...へき地医療拠点病院	災...災害拠点病院
		地...地域医療支援病院	特...特定機能病院	輪...病院群輪番制病院			

病床利用率・平均在院日数（％・日）				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数（一般病床のみ）		-	-	-

貸借対照表（千円）				
区分		決算額		
資産合計		-		
1 固定資産		-		
	(1) 有形固定資産	-		
	(2) 無形固定資産	-		
	(3) 投資その他の資産	-		
2 流動資産		-		
	(1) 現金及び預金	-		
	(2) 未収金及び未収収益	-		
	(3) 貸倒引当金（ ）	-		
	(4) 貯蔵品	-		
3 繰延資産		-		
負債合計		-		
1 固定負債		-		
	(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-		
	(2) その他の企業債	-		
	(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-		
	(4) その他の長期借入金	-		
	(5) 引当金	-		
	(6) リース債務	-		
2 流動負債		-		
	(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-		
	(2) その他の企業債	-		
	(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-		
	(4) その他の長期借入金	-		
	(5) 引当金	-		
	(6) リース債務	-		
	(7) 一時借入金	-		
	(8) 未払金及び未払費用	-		
	(9) 前受金及び前受収益	-		
3 繰延収益		-		
	(1) 長期前受金	-		
	(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	-		
	(3) 繰延運営権対価	-		
	(4) 繰延運営権対価収益化累計額（ ）	-		
	(5) 運営権者更新投資	-		
	(6) 運営権者更新投資収益化累計額（ ）	-		
資本合計		-		
1 資本金		-		
2 剰余金		-		
	(1) 資本剰余金	-		
	(2) 利益剰余金	-		
負債・資本合計		-		
不良債務		-		
実質資金不足額		-		
資本不足額（ ）		-		
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）		-		
備考				

当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。				
---	--	--	--	--

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				山口県	
市町村・組合名		下関市			
病院名		中央病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分		特殊診療機能			
病院区分		不採算地区病院			
建物面積	- ㎡	不採算地区中核病院			
診療科数	-	指定病院の状況			
許可公営企業		看護配置			
D P C 対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	400床以上～500床未満		

特殊診療機能欄	ド...人間ドック	透...人工透析	I...ICU・CCU	未...NICU・未熟児室	訓...運動機能訓練室	ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄	救...救急告示病院	臨...臨床研修病院	が...がん診療連携拠点病院	感...感染症指定医療機関	へ...へき地医療拠点病院	災...災害拠点病院
	地...地域医療支援病院	特...特定機能病院	輪...病院群輪番制病院			

病床利用率・平均在院日数(％・日)					
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度	
一般	-	-	-	-	
療養	-	-	-	-	
結核	-	-	-	-	
精神	-	-	-	-	
感染症	-	-	-	-	
計	-	-	-	-	
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-	

貸借対照表(千円)				
区分				決算額
資産合計				-
1 固定資産				-
(1) 有形固定資産				-
(2) 無形固定資産				-
(3) 投資その他の資産				-
2 流動資産				-
(1) 現金及び預金				-
(2) 未収金及び未収収益				-
(3) 貸倒引当金()				-
(4) 貯蔵品				-
3 繰延資産				-
負債合計				-
1 固定負債				-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				-
(2) その他の企業債				-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-
(4) その他の長期借入金				-
(5) 引当金				-
(6) リース債務				-
2 流動負債				-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				-
(2) その他の企業債				-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-
(4) その他の長期借入金				-
(5) 引当金				-
(6) リース債務				-
(7) 一時借入金				-
(8) 未払金及び未払費用				-
(9) 前受金及び前受収益				-
3 繰延収益				-
(1) 長期前受金				-
(2) 長期前受金収益化累計額()				-
(3) 繰延運営権対価				-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()				-
(5) 運営権者更新投資				-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()				-
資本合計				-
1 資本金				-
2 剰余金				-
(1) 資本剰余金				-
(2) 利益剰余金				-
負債・資本合計				-
不良債務				-
実質資金不足額				-
資本不足額()				-
資本不足額(繰延収益控除後)()				-
備考				
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。				

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(％)
令和5年度	42,101	5.7
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(％)	240.0
健全化法上の資金不足額(千円)	42,101
健全化法上の資金不足比率(％)	5.7
地財法上の資金不足額(千円)	42,101
地財法上の資金不足比率(％)	5.7

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				山口県	
市町村・組合名		下関市			
病院名		豊浦病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分		特殊診療機能			
病院区分		不採算地区病院			
建物面積	- ㎡	不採算地区中核病院			
診療科数	-	指定病院の状況			
許可公営企業		看護配置			
D P C 対象病院	-	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
		類似区分	200床以上～300床未満		

病床利用率・平均在院日数(％・日)					
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度	
一般	-	-	-	-	
療養	-	-	-	-	
結核	-	-	-	-	
精神	-	-	-	-	
感染症	-	-	-	-	
計	-	-	-	-	
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-	

貸借対照表(千円)				
区分		決算額		
資産合計		-		
1 固定資産		-		
(1) 有形固定資産		-		
(2) 無形固定資産		-		
(3) 投資その他の資産		-		
2 流動資産		-		
(1) 現金及び預金		-		
(2) 未収金及び未収収益		-		
(3) 貸倒引当金()		-		
(4) 貯蔵品		-		
3 繰延資産		-		
負債合計		-		
1 固定負債		-		
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債		-		
(2) その他の企業債		-		
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金		-		
(4) その他の長期借入金		-		
(5) 引当金		-		
(6) リース債務		-		
2 流動負債		-		
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債		-		
(2) その他の企業債		-		
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金		-		
(4) その他の長期借入金		-		
(5) 引当金		-		
(6) リース債務		-		
(7) 一時借入金		-		
(8) 未払金及び未払費用		-		
(9) 前受金及び前受収益		-		
3 繰延収益		-		
(1) 長期前受金		-		
(2) 長期前受金収益化累計額()		-		
(3) 繰延運営権対価		-		
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()		-		
(5) 運営権者更新投資		-		
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()		-		
資本合計		-		
1 資本金		-		
2 剰余金		-		
(1) 資本剰余金		-		
(2) 利益剰余金		-		
負債・資本合計		-		
不良債務		-		
実質資金不足額		-		
資本不足額()		-		
資本不足額(繰延収益控除後)()		-		
備考				
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。				

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,639	1,639
資本勘定繰入	10,084	10,084
計	11,723	11,723

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	42,101	5.7
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	240.0
健全化法上の資金不足額(千円)	42,101
健全化法上の資金不足比率(%)	5.7
地財法上の資金不足額(千円)	42,101
地財法上の資金不足比率(%)	5.7

備考：

- 修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
- 実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。
- 「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
- 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

損益計算書(千円・％)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	8,983			
1 経常収益	1,639			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	1,639			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	1,639			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	7,344			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,459			
2 経常費用	2,459			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	58.7	63.9
材料費	-	-	26.9	21.1
(うち薬品費)	-	-	14.8	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.7	10.2
減価償却費	-	-	8.5	9.3
経費	-	-	21.5	28.2
(うち委託料)	-	-	11.5	14.0
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	2,459			
(うち支払利息)	2,459	-	0.9	1.0
(3) 特別損失	-			
損益	経常損益	-820		
	純損益	6,524		
累積欠損金	15,614			
経常収支比率	66.7		96.5	93.2
医業収支比率	-		86.0	81.2
修正医業収支比率	-		83.2	77.9
他会計繰入金対経常収益比率	100.0		11.5	13.2
他会計繰入金対医業収益比率	-		13.7	16.1
他会計繰入金対総収益比率	18.2		11.5	13.3
実質収益対経常費用比率	-		85.4	80.9

備考：

「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				山口県	
市町村・組合名		下関市			
病院名		豊田中央病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	4,773㎡	不採算地区中核病院			
診療科数	9	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上～100床未満		

特殊診療機能欄	ド…人間ドック	透…人工透析	I…ICU・CCU	未…NICU・未熟児室	訓…運動機能訓練室	ガ…ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄	救…救急告示病院	臨…臨床研修病院	が…がん診療連携拠点病院	感…感染症指定医療機関	へ…へき地医療拠点病院	災…災害拠点病院
	地…地域医療支援病院	特…特定機能病院	輪…病院群輪番制病院			

病床利用率・平均在院日数					(%・日)
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度	
一般	60	62.1	53.2	55.7	
療養	11	-	-	-	
結核	-	-	-	-	
精神	-	-	-	-	
感染症	-	-	-	-	
計	71	52.5	45.0	47.1	
平均在院日数(一般病床のみ)		18.3	15.9	14.3	

貸借対照表					(千円)
区分					決算額
資産合計					1,421,023
1 固定資産					1,260,658
(1) 有形固定資産					1,260,537
(2) 無形固定資産					121
(3) 投資その他の資産					-
2 流動資産					160,365
(1) 現金及び預金					14,940
(2) 未収金及び未収収益					134,995
(3) 貸倒引当金()					1,023
(4) 貯蔵品					11,453
3 繰延資産					-
負債合計					1,322,086
1 固定負債					749,869
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債					267,073
(2) その他の企業債					-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金					-
(4) その他の長期借入金					200,000
(5) 引当金					282,796
(6) リース債務					-
2 流動負債					301,466
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債					99,000
(2) その他の企業債					-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金					-
(4) その他の長期借入金					-
(5) 引当金					35,578
(6) リース債務					-
(7) 一時借入金					90,000
(8) 未払金及び未払費用					75,692
(9) 前受金及び前受収益					-
3 繰延収益					270,751
(1) 長期前受金					1,019,137
(2) 長期前受金収益化累計額()					748,386
(3) 繰延運営権対価					-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()					-
(5) 運営権者更新投資					-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()					-
資本合計					98,937
1 資本金					1,849,419
2 剰余金					-1,750,482
(1) 資本金剰余金					8,678
(2) 利益剰余金					-1,759,160
負債・資本合計					1,421,023
不良債務					42,101
実質資金不足額					42,101
資本不足額()					-
資本不足額(繰延収益控除後)()					-
備考					
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。					

設立団体の状況		
人口(人)	255,051	
決算規模(千円)	137,045,015	
標準財政規模(千円)	65,580,989	
財政力指数	0.54	
経常収支比率(%)	94.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.9
	将来負担比率(%)	45.3

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	259,559	270,311
資本勘定繰入	50,931	50,931
計	310,490	321,242

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	42,101	5.7
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	240.0
健全化法上の資金不足額(千円)	42,101
健全化法上の資金不足比率(%)	5.7
地財法上の資金不足額(千円)	42,101
地財法上の資金不足比率(%)	5.7

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

損益計算書					(千円・%)
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均	
総収益	1,019,413				
1 経常収益	1,018,755				
(1) 医業収益	733,105				
(うち修正医業収益)	677,074				
入院収益	390,001				
外来収益	232,420				
診療収入計	622,421				
繰延運営権対価収益	-				
運営権者更新投資収益	-				
その他医業収益	110,684				
(うち他会計負担金)	56,031				
(2) 医業外収益	285,650				
(うち国・都道府県補助金)	16,087				
(うち他会計補助・負担金)	214,280				
(うち長期前受金戻入)	53,916				
(うち資本費繰入収益)	-				
(3) 特別利益	658				
(うち他会計繰入金)	-				
総費用	1,157,107				
2 経常費用	1,156,482				
(1) 医業費用	1,121,746				
職員給与費	681,542	93.0	58.7	78.7	
材料費	103,138	14.1	26.9	14.5	
(うち薬品費)	58,055	7.9	14.8	7.7	
(うち薬品費以外の医薬材料費)	31,871	4.3	11.7	6.1	
減価償却費	101,982	13.9	8.5	11.8	
経費	223,267	30.5	21.5	32.3	
(うち委託料)	137,463	18.8	11.5	15.3	
研究研修費	10,831				
資産減耗費	986				
(2) 医業外費用	34,736				
(うち支払利息)	3,264	0.4	0.9	1.1	
(3) 特別損失	625				
損益	経常損益	-137,727			
	純損益	-137,694			
累積欠損金		1,743,546			
経常収支比率		88.1	96.5	96.4	
医業収支比率		65.4	86.0	72.4	
修正医業収支比率		60.4	83.2	68.2	
他会計繰入金対経常収益比率		26.5	11.5	24.2	
他会計繰入金対医業収益比率		36.9	13.7	34.4	
他会計繰入金対総収益比率		26.5	11.5	24.2	
実質収益対経常費用比率		64.7	85.4	73.0	

備考：

「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				山口県	
市町村・組合名		萩市			
病院名		市民病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	9,722㎡	不採算地区中核病院			
診療科数	10	指定病院の状況	救へ輪		
許可公営企業		看護配置	7：1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上～200床未満		

病床利用率・平均在院日数					(%・日)
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度	
一般	100	75.9	67.4	71.0	
療養	-	-	-	-	
結核	-	-	-	-	
精神	-	-	-	-	
感染症	-	-	-	-	
計	100	75.9	67.4	71.0	
平均在院日数(一般病床のみ)		15.0	13.7	13.2	

貸借対照表					(千円)
区分				決算額	
資産合計				3,668,775	
1 固定資産				2,899,425	
(1) 有形固定資産				2,767,206	
(2) 無形固定資産				734	
(3) 投資その他の資産				131,485	
2 流動資産				769,350	
(1) 現金及び預金				254,735	
(2) 未収金及び未収収益				486,066	
(3) 貸倒引当金()				3,994	
(4) 貯蔵品				32,543	
3 繰延資産				-	
負債合計				3,294,416	
1 固定負債				2,516,489	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				1,868,034	
(2) その他の企業債				-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				592,532	
(6) リース債務				55,923	
2 流動負債				698,399	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				360,428	
(2) その他の企業債				-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				83,314	
(6) リース債務				18,013	
(7) 一時借入金				-	
(8) 未払金及び未払費用				235,555	
(9) 前受金及び前受収益				-	
3 繰延収益				79,528	
(1) 長期前受金				254,842	
(2) 長期前受金収益化累計額()				175,314	
(3) 繰延運営権対価				-	
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()				-	
(5) 運営権者更新投資				-	
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()				-	
資本合計				374,359	
1 資本金				1,517,112	
2 剰余金				-1,142,753	
(1) 資本剰余金				213,911	
(2) 利益剰余金				-1,356,664	
負債・資本合計				3,668,775	
不良債務				-	
実質資金不足額				-	
資本不足額()				-	
資本不足額(繰延収益控除後)()				-	
備考					

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	548,430	548,892
資本勘定繰入	185,674	185,674
計	734,104	734,566

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	65.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

損益計算書					(千円・%)
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均	
総収益	2,574,856				
1 経常収益	2,574,856				
(1) 医業収益	2,068,734				
(うち修正医業収益)	1,978,669				
入院収益	1,320,321				
外来収益	559,989				
診療収入計	1,880,310				
繰延運営権対価収益	-				
運営権者更新投資収益	-				
その他医業収益	188,424				
(うち他会計負担金)	90,065				
(2) 医業外収益	506,122				
(うち国・都道府県補助金)	5,670				
(うち他会計補助・負担金)	458,827				
(うち長期前受金戻入)	4,442				
(うち資本費繰入収益)	-				
(3) 特別利益	-				
(うち他会計繰入金)	-				
総費用	2,906,359				
2 経常費用	2,906,359				
(1) 医業費用	2,765,527				
職員給与費	1,424,267	68.8	58.7	67.7	
材料費	446,474	21.6	26.9	18.3	
(うち薬品費)	170,648	8.2	14.8	8.6	
(うち薬品費以外の医薬材料費)	274,421	13.3	11.7	9.1	
減価償却費	162,919	7.9	8.5	10.3	
経費	715,696	34.6	21.5	29.4	
(うち委託料)	486,696	23.5	11.5	13.6	
研究研修費	4,981				
資産減耗費	11,190				
(2) 医業外費用	140,832				
(うち支払利息)	31,110	1.5	0.9	1.1	
(3) 特別損失	-				
損益	経常損益	-331,503			
	純損益	-331,503			
累積欠損金	1,356,664				
経常収支比率	88.6		96.5	95.4	
医業収支比率	74.8		86.0	79.1	
修正医業収支比率	71.5		83.2	74.9	
他会計繰入金対経常収益比率	21.3		11.5	17.0	
他会計繰入金対医業収益比率	26.5		13.7	21.8	
他会計繰入金対総収益比率	21.3		11.5	17.1	
実質収益対経常費用比率	69.7		85.4	79.2	

備考：

「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				山口県	
市町村・組合名		岩国市			
病院名		岩国市立錦中央病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能			
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	2,974㎡	不採算地区中核病院			
診療科数	8	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	15：1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上～100床未満		

特殊診療機能欄		ド…人間ドック		透…人工透析	I…ICU・CCU	未…NICU・未熟児室	訓…運動機能訓練室	ガ…ガン(放射線)	診療
指定病院の状況欄		救…救急告示病院		臨…臨床研修病院	が…がん診療連携拠点病院	感…感染症指定医療機関	へ…へき地医療拠点病院	災…災害拠点病院	
		地…地域医療支援病院		特…特定機能病院	輪…病院群輪番制病院				

病床利用率・平均在院日数(％・日)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	53	73.0	66.0	81.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	53	73.0	66.0	81.2
平均在院日数(一般病床のみ)		37.3	37.0	37.2

貸借対照表(千円)				
区分		決算額		
資産合計		2,568,262		
1	固定資産	2,207,569		
	(1)有形固定資産	2,133,218		
	(2)無形固定資産	74,351		
	(3)投資その他の資産	-		
2	流動資産	360,693		
	(1)現金及び預金	83,259		
	(2)未収金及び未収収益	274,632		
	(3)貸倒引当金()	5,679		
	(4)貯蔵品	8,481		
3	繰延資産	-		
負債合計		1,716,431		
1	固定負債	1,223,844		
	(1)建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,206,238		
	(2)その他の企業債	-		
	(3)建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-		
	(4)その他の長期借入金	-		
	(5)引当金	16,022		
	(6)リース債務	1,584		
2	流動負債	294,738		
	(1)建設改良費等の財源に充てるための企業債	21,855		
	(2)その他の企業債	-		
	(3)建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-		
	(4)その他の長期借入金	-		
	(5)引当金	63,162		
	(6)リース債務	902		
	(7)一時借入金	40,000		
	(8)未払金及び未払費用	164,905		
	(9)前受金及び前受収益	-		
3	繰延収益	197,849		
	(1)長期前受金	565,967		
	(2)長期前受収益化累計額()	368,118		
	(3)繰延運営権対価	-		
	(4)繰延運営権対価収益化累計額()	-		
	(5)運営権者更新投資	-		
	(6)運営権者更新投資収益化累計額()	-		
資本合計		851,831		
1	資本金	1,528,734		
2	剰余金	-676,903		
	(1)資本剰余金	442,073		
	(2)利益剰余金	-1,118,976		
負債・資本合計		2,568,262		
不良債務		-		
実質資金不足額		-		
資本不足額()		-		
資本不足額(繰延収益控除後)()		-		
備考				
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。				

設立団体の状況		
人口(人)	129,125	
決算規模(千円)	74,238,661	
標準財政規模(千円)	37,025,238	
財政力指数	0.54	
経常収支比率(％)	92.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(％)	-
	連結実質赤字比率(％)	-
	実質公債費比率(％)	4.5
	将来負担比率(％)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	202,533	202,533
資本勘定繰入	11,795	11,795
計	214,328	214,328

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(％)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(％)	114.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(％)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(％)	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

特殊診療機能欄 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療
指定病院の状況欄 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(％・日)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	53	73.0	66.0	81.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	53	73.0	66.0	81.2
平均在院日数(一般病床のみ)		37.3	37.0	37.2

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	2,568,262
1 固定資産	2,207,569
(1) 有形固定資産	2,133,218
(2) 無形固定資産	74,351
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	360,693
(1) 現金及び預金	83,259
(2) 未収金及び未収収益	274,632
(3) 貸倒引当金()	5,679
(4) 貯蔵品	8,481
3 繰延資産	-
負債合計	1,716,431
1 固定負債	1,223,844
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,206,238
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	16,022
(6) リース債務	1,584
2 流動負債	294,738
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	21,855
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	63,162
(6) リース債務	902
(7) 一時借入金	40,000
(8) 未払金及び未払費用	164,905
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	197,849
(1) 長期前受金	565,967
(2) 長期前受金収益化累計額()	368,118
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	851,831
1 資本金	1,528,734
2 剰余金	-676,903
(1) 資本剰余金	442,073
(2) 利益剰余金	-1,118,976
負債・資本合計	2,568,262
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。

設 立 団 体 の 状 況		
人 口 (人)	129,125	
決 算 規 模 (千円)	74,238,661	
標 準 財 政 規 模 (千円)	37,025,238	
財 政 力 指 数	0.54	
経 常 収 支 比 率 (%)	92.1	
健全化 判断比率	実 質 赤 字 比 率 (%)	-
	連 結 実 質 赤 字 比 率 (%)	-
	実 質 公 債 費 比 率 (%)	4.5
	将 来 負 担 比 率 (%)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	202,533	202,533
資本勘定繰入	11,795	11,795
計	214,328	214,328

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	114.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

- 修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
- 実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。
- 「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
- 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				山口県	
市町村・組合名		岩国市			
病院名		岩国市立美和病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能			
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	2,968㎡	不採算地区中核病院			
診療科数	6	指定病院の状況	救臨		
許可公営企業		看護配置	15：1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上～100床未満		

特殊診療機能欄	ド…人間ドック	透…人工透析	I…ICU・CCU	未…NICU・未熟児室	訓…運動機能訓練室	ガ…ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄	救…救急告示病院	臨…臨床研修病院	が…がん診療連携拠点病院	感…感染症指定医療機関	へ…へき地医療拠点病院	災…災害拠点病院
	地…地域医療支援病院	特…特定機能病院	輪…病院群輪番制病院			

病床利用率・平均在院日数					(%・日)
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度	
一般	52	45.0	37.3	19.8	
療養	-	-	-	-	
結核	-	-	-	-	
精神	-	-	-	-	
感染症	-	-	-	-	
計	52	45.0	37.3	19.8	
平均在院日数(一般病床のみ)		21.8	26.6	23.3	

貸借対照表					(千円)
区分				決算額	
資産合計				2,568,262	
1 固定資産				2,207,569	
(1) 有形固定資産				2,133,218	
(2) 無形固定資産				74,351	
(3) 投資その他の資産				-	
2 流動資産				360,693	
(1) 現金及び預金				83,259	
(2) 未収金及び未収収益				274,632	
(3) 貸倒引当金()				5,679	
(4) 貯蔵品				8,481	
3 繰延資産				-	
負債合計				1,716,431	
1 固定負債				1,223,844	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				1,206,238	
(2) その他の企業債				-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				16,022	
(6) リース債務				1,584	
2 流動負債				294,738	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				21,855	
(2) その他の企業債				-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				63,162	
(6) リース債務				902	
(7) 一時借入金				40,000	
(8) 未払金及び未払費用				164,905	
(9) 前受金及び前受収益				-	
3 繰延収益				197,849	
(1) 長期前受金				565,967	
(2) 長期前受金収益化累計額()				368,118	
(3) 繰延運営権対価				-	
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()				-	
(5) 運営権者更新投資				-	
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()				-	
資本合計				851,831	
1 資本金				1,528,734	
2 剰余金				-676,903	
(1) 資本剰余金				442,073	
(2) 利益剰余金				-1,118,976	
負債・資本合計				2,568,262	
不良債務				-	
実質資金不足額				-	
資本不足額()				-	
資本不足額(繰延収益控除後)()				-	
備考					
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。					

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	258,579	258,579
資本勘定繰入	276,767	276,767
計	535,346	535,346

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	114.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

- 修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
- 実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。
- 「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
- 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

備考：					
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。					

病院事業決算状況(令和5年度)

都道府県名
山口県

市町村・組合名
光市

病院名
光市立光総合病院

施設及び業務概況等

法適用区分
条例全部

特殊診療機能
ド透訓

病院区分
一般病院

不採算地区病院
第2種該当

建物面積
17,910㎡

不採算地区中核病院
第2種該当

診療科数
18

指定病院の状況
救へ輪

許可公営企業
DPC対象病院

対象

対象

経営形態
直営

類似区分
200床以上～300床未満

損益計算書

(千円・%)

区分

決算額

費用
医業収益

全国平均

類似平均

総収益

3,999,918

1 経常収益

3,998,425

(1) 医業収益

3,629,460

(うち修正医業収益)

3,441,558

入院収益

2,305,504

外来収益

1,073,907

診療収入計

3,379,411

繰延運営権対価収益

-

運営権者更新投資収益

-

その他医業収益

250,049

(うち他会計負担金)

187,902

(2) 医業外収益

368,965

(うち国・都道府県補助金)

48,993

(うち他会計補助・負担金)

145,933

(うち長期前受金戻入)

141,901

(うち資本費繰入収益)

-

(3) 特別利益

1,493

(うち他会計繰入金)

-

総費用

4,946,586

2 経常費用

4,637,947

(1) 医業費用

4,423,738

職員給与費

2,433,473

67.0

58.7

63.9

材料費

721,436

19.9

26.9

21.1

(うち薬品費)

375,264

10.3

14.8

10.6

(うち薬品費以外の医薬材料費)

346,172

9.5

11.7

10.2

減価償却費

461,061

12.7

8.5

9.3

経費

796,663

21.9

21.5

28.2

(うち委託料)

475,469

13.1

11.5

14.0

研究研修費

8,476

資産減耗費

2,629

(2) 医業外費用

214,209

(うち支払利息)

34,777

1.0

0.9

1.0

(3) 特別損失

308,639

損益

経常損益

-639,522

純損益

-946,668

累積欠損金

1,051,009

経常収支比率

86.2

96.5

93.2

医業収支比率

82.0

86.0

81.2

修正医業収支比率

77.8

83.2

77.9

他会計繰入金対経常収益比率

8.3

11.5

13.2

他会計繰入金対医業収益比率

9.2

13.7

16.1

他会計繰入金対総収益比率

8.3

11.5

13.3

実質収益対経常費用比率

79.0

85.4

80.9

備考:

「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

特殊診療機能欄
指定病院の状況欄

ド...人間ドック透...人工透析I...ICU・CCU未...NICU・未熟児室訓...運動機能訓練室ガ...ガン(放射線)診療
救...救急告示病院臨...臨床研修病院が...がん診療連携拠点病院感...感染症指定医療機関へ...へき地医療拠点病院災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院特...特定機能病院輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(％・日)

区分

病床数

令和5年度

令和4年度

令和3年度

一般

210

62.0

58.4

56.7

療養

-

-

-

-

結核

-

-

-

-

精神

-

-

-

-

感染症

-

-

-

-

計

210

62.0

58.4

56.7

平均在院日数(一般病床のみ)

16.1

17.1

18.0

貸借対照表

(千円)

区分

決算額

資産合計

16,042,927

1 固定資産

10,939,398

(1) 有形固定資産

10,452,437

(2) 無形固定資産

1,937

(3) 投資その他の資産

485,024

2 流動資産

5,103,529

(1) 現金及び預金

4,069,345

(2) 未収金及び未収収益

998,277

(3) 貸倒引当金()

13,384

(4) 貯蔵品

49,291

3 繰延資産

-

負債合計

10,933,080

1 固定負債

9,076,347

(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債

6,795,470

(2) その他の企業債

324,500

(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金

-

(4) その他の長期借入金

-

(5) 引当金

1,956,377

(6) リース債務

-

2 流動負債

1,029,734

(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債

476,908

(2) その他の企業債

-

(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金

-

(4) その他の長期借入金

-

(5) 引当金

245,369

(6) リース債務

-

(7) 一時借入金

-

(8) 未払金及び未払費用

292,592

(9) 前受金及び前受収益

-

3 繰延収益

826,999

(1) 長期前受金

5,020,554

(2) 長期前受金収益化累計額()

4,193,555

(3) 繰延運営権対価

-

(4) 繰延運営権対価収益化累計額()

-

(5) 運営権者更新投資

-

(6) 運営権者更新投資収益化累計額()

-

資本合計

5,109,847

1 資本金

6,349,826

2 剰余金

-1,239,979

(1) 資本金剰余金

1,547,515

(2) 利益剰余金

-2,787,494

負債・資本合計

16,042,927

不良債務

-

実質資金不足額

-

資本不足額()

-

資本不足額(繰延収益控除後)()

-

備考

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

設立団体の状況

人口(人)

49,798

決算規模(千円)

24,410,445

標準財政規模(千円)

13,630,959

財政力指数</

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				山口県	
市町村・組合名		光市			
病院名		光市立大和総合病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	16,464㎡	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	19	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	200床以上～300床未満		

特殊診療機能欄	ド…人間ドック	透…人工透析	I…ICU・CCU	未…NICU・未熟児室	訓…運動機能訓練室	ガ…ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄	救…救急告示病院	臨…臨床研修病院	が…がん診療連携拠点病院	感…感染症指定医療機関	へ…へき地医療拠点病院	災…災害拠点病院
	地…地域医療支援病院	特…特定機能病院	輪…病院群輪番制病院			

病床利用率・平均在院日数					(%・日)
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度	
一般	40	80.3	84.1	82.1	
療養	203	95.6	98.0	99.4	
結核	-	-	-	-	
精神	-	-	-	-	
感染症	-	-	-	-	
計	243	93.1	95.7	96.5	
平均在院日数(一般病床のみ)		19.4	20.3	19.2	

貸借対照表					(千円)
区分				決算額	
資産合計				16,042,927	
1 固定資産				10,939,398	
(1) 有形固定資産				10,452,437	
(2) 無形固定資産				1,937	
(3) 投資その他の資産				485,024	
2 流動資産				5,103,529	
(1) 現金及び預金				4,069,345	
(2) 未収金及び未収収益				998,277	
(3) 貸倒引当金()				13,384	
(4) 貯蔵品				49,291	
3 繰延資産				-	
負債合計				10,933,080	
1 固定負債				9,076,347	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				6,795,470	
(2) その他の企業債				324,500	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				1,956,377	
(6) リース債務				-	
2 流動負債				1,029,734	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				476,908	
(2) その他の企業債				-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				245,369	
(6) リース債務				-	
(7) 一時借入金				-	
(8) 未払金及び未払費用				292,592	
(9) 前受金及び前受収益				-	
3 繰延収益				826,999	
(1) 長期前受金				5,020,554	
(2) 長期前受金収益化累計額()				4,193,555	
(3) 繰延運営権対価				-	
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()				-	
(5) 運営権者更新投資				-	
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()				-	
資本合計				5,109,847	
1 資本金				6,349,826	
2 剰余金				-1,239,979	
(1) 資本剰余金				1,547,515	
(2) 利益剰余金				-2,787,494	
負債・資本合計				16,042,927	
不良債務				-	
実質資金不足額				-	
資本不足額()				-	
資本不足額(繰延収益控除後)()				-	
備考					
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。					

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	168,505	172,413
資本勘定繰入	104,759	104,759
計	273,264	277,172

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	47.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				山口県	
市町村・組合名		美祢市			
病院名		市立病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	8,950㎡	不採算地区中核病院			
診療科数	10	指定病院の状況	救臨輪		
許可公営企業		看護配置	10：1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上～200床未満		

特殊診療機能欄	ド…人間ドック	透…人工透析	I…ICU・CCU	未…NICU・未熟児室	訓…運動機能訓練室	ガ…ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄	救…救急告示病院	臨…臨床研修病院	が…がん診療連携拠点病院	感…感染症指定医療機関	へ…へき地医療拠点病院	災…災害拠点病院
	地…地域医療支援病院	特…特定機能病院	輪…病院群輪番制病院			

病床利用率・平均在院日数					(%・日)
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度	
一般	81	70.2	57.7	57.3	
療養	45	72.6	77.0	76.2	
結核	-	-	-	-	
精神	-	-	-	-	
感染症	-	-	-	-	
計	126	71.0	64.6	64.0	
平均在院日数(一般病床のみ)		26.0	23.1	25.5	

貸借対照表					(千円)
区分				決算額	
資産合計				5,112,513	
1 固定資産				4,043,703	
(1) 有形固定資産				3,999,895	
(2) 無形固定資産				-	
(3) 投資その他の資産				43,808	
2 流動資産				1,068,810	
(1) 現金及び預金				604,406	
(2) 未収金及び未収収益				434,354	
(3) 貸倒引当金()				353	
(4) 貯蔵品				30,403	
3 繰延資産				-	
負債合計				4,841,881	
1 固定負債				2,456,849	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				1,397,072	
(2) その他の企業債				-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				1,059,777	
(6) リース債務				-	
2 流動負債				680,334	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				363,060	
(2) その他の企業債				-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				145,926	
(6) リース債務				-	
(7) 一時借入金				-	
(8) 未払金及び未払費用				169,853	
(9) 前受金及び前受収益				-	
3 繰延収益				1,704,698	
(1) 長期前受金				5,703,624	
(2) 長期前受金収益化累計額()				3,998,926	
(3) 繰延運営権対価				-	
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()				-	
(5) 運営権者更新投資				-	
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()				-	
資本合計				270,632	
1 資本金				1,191,687	
2 剰余金				-921,055	
(1) 資本剰余金				122,797	
(2) 利益剰余金				-1,043,852	
負債・資本合計				5,112,513	
不良債務				-	
実質資金不足額				-	
資本不足額()				-	
資本不足額(繰延収益控除後)()				-	
備考					
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。					

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	381,658	383,245
資本勘定繰入	88,490	151,893
計	470,148	535,138

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	38.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

- 修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
- 実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。
- 「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
- 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				山口県	
市町村・組合名		美祢市			
病院名		美東病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	6,840㎡	不採算地区中核病院			
診療科数	8	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	10：1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上～200床未満		

特殊診療機能欄	ド…人間ドック	透…人工透析	I…ICU・CCU	未…NICU・未熟児室	訓…運動機能訓練室	ガ…ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄	救…救急告示病院	臨…臨床研修病院	が…がん診療連携拠点病院	感…感染症指定医療機関	へ…へき地医療拠点病院	災…災害拠点病院
	地…地域医療支援病院	特…特定機能病院	輪…病院群輪番制病院			

病床利用率・平均在院日数					(%・日)
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度	
一般	60	76.4	66.8	66.4	
療養	40	87.3	86.0	80.9	
結核	-	-	-	-	
精神	-	-	-	-	
感染症	-	-	-	-	
計	100	80.7	74.5	72.2	
平均在院日数(一般病床のみ)		23.7	22.5	21.9	

貸借対照表					(千円)
区分				決算額	
資産合計				5,112,513	
1 固定資産				4,043,703	
(1) 有形固定資産				3,999,895	
(2) 無形固定資産				-	
(3) 投資その他の資産				43,808	
2 流動資産				1,068,810	
(1) 現金及び預金				604,406	
(2) 未収金及び未収収益				434,354	
(3) 貸倒引当金()				353	
(4) 貯蔵品				30,403	
3 繰延資産				-	
負債合計				4,841,881	
1 固定負債				2,456,849	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				1,397,072	
(2) その他の企業債				-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				1,059,777	
(6) リース債務				-	
2 流動負債				680,334	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				363,060	
(2) その他の企業債				-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				145,926	
(6) リース債務				-	
(7) 一時借入金				-	
(8) 未払金及び未払費用				169,853	
(9) 前受金及び前受収益				-	
3 繰延収益				1,704,698	
(1) 長期前受金				5,703,624	
(2) 長期前受金収益化累計額()				3,998,926	
(3) 繰延運営権対価				-	
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()				-	
(5) 運営権者更新投資				-	
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()				-	
資本合計				270,632	
1 資本金				1,191,687	
2 剰余金				-921,055	
(1) 資本剰余金				122,797	
(2) 利益剰余金				-1,043,852	
負債・資本合計				5,112,513	
不良債務				-	
実質資金不足額				-	
資本不足額()				-	
資本不足額(繰延収益控除後)()				-	
備考					
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。					

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	344,069	344,135
資本勘定繰入	108,675	116,291
計	452,744	460,426

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	38.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:

- 修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
- 実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。
- 「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
- 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				山口県	
市町村・組合名		周南市			
病院名		市民病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	10,935㎡	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	7	指定病院の状況	救輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	指定管理者(代行制)		
		類似区分	100床以上～200床未満		

特殊診療機能欄	ド…人間ドック	透…人工透析	I…ICU・CCU	末…NICU・未熟児室	訓…運動機能訓練室	ガ…ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄	救…救急告示病院	臨…臨床研修病院	が…がん診療連携拠点病院	感…感染症指定医療機関	へ…へき地医療拠点病院	災…災害拠点病院
	地…地域医療支援病院	特…特定機能病院	輪…病院群輪番制病院			

病床利用率・平均在院日数					(%・日)
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度	
一般	150	72.3	61.6	63.8	
療養	-	-	-	-	
結核	-	-	-	-	
精神	-	-	-	-	
感染症	-	-	-	-	
計	150	72.3	61.6	63.8	
平均在院日数(一般病床のみ)		14.7	16.7	15.7	

貸借対照表		(千円)
区分		決算額
資産合計		5,801,637
1 固定資産		3,868,706
(1) 有形固定資産		3,776,800
(2) 無形固定資産		1,600
(3) 投資その他の資産		90,306
2 流動資産		1,932,931
(1) 現金及び預金		1,441,485
(2) 未収金及び未収収益		482,392
(3) 貸倒引当金()		946
(4) 貯蔵品		-
3 繰延資産		-
負債合計		2,153,069
1 固定負債		1,608,848
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債		1,608,848
(2) その他の企業債		-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金		-
(4) その他の長期借入金		-
(5) 引当金		-
(6) リース債務		-
2 流動負債		503,244
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債		347,448
(2) その他の企業債		-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金		-
(4) その他の長期借入金		-
(5) 引当金		1,866
(6) リース債務		-
(7) 一時借入金		-
(8) 未払金及び未払費用		153,892
(9) 前受金及び前受収益		-
3 繰延収益		40,977
(1) 長期前受金		67,181
(2) 長期前受金収益化累計額()		26,204
(3) 繰延運営権対価		-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()		-
(5) 運営権者更新投資		-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()		-
資本合計		3,648,568
1 資本金		5,433,332
2 剰余金		-1,784,764
(1) 資本剰余金		26,567
(2) 利益剰余金		-1,811,331
負債・資本合計		5,801,637
不良債務		-
実質資金不足額		-
資本不足額()		-
資本不足額(繰延収益控除後)()		-
備考		

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	231,109	231,109
資本勘定繰入	215,002	215,002
計	446,111	446,111

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	65.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:

- 修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
- 実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。
- 「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
- 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

損益計算書					(千円・%)
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均	
総収益	3,033,354				
1 経常収益	3,029,201				
(1) 医業収益	2,781,410				
(うち修正医業収益)	2,716,658				
入院収益	1,833,208				
外来収益	822,541				
診療収入計	2,655,749				
繰延運営権対価収益	-				
運営権者更新投資収益	-				
その他医業収益	125,661				
(うち他会計負担金)	64,752				
(2) 医業外収益	247,791				
(うち国・都道府県補助金)	72,739				
(うち他会計補助・負担金)	166,357				
(うち長期前受金戻入)	5,798				
(うち資本費繰入収益)	-				
(3) 特別利益	4,153				
(うち他会計繰入金)	-				
総費用	3,164,322				
2 経常費用	3,163,819				
(1) 医業費用	3,119,734				
職員給与費	17,983	0.6	58.7	67.7	
材料費	-	-	26.9	18.3	
(うち薬品費)	-	-	14.8	8.6	
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.7	9.1	
減価償却費	142,485	5.1	8.5	10.3	
経費	2,956,916	106.3	21.5	29.4	
(うち委託料)	-	-	11.5	13.6	
研究研修費	-				
資産減耗費	2,350				
(2) 医業外費用	44,085				
(うち支払利息)	36,118	1.3	0.9	1.1	
(3) 特別損失	503				
損益	経常損益	-134,618			
	純損益	-130,968			
累積欠損金		1,811,331			
経常収支比率		95.7	96.5	95.4	
医業収支比率		89.2	86.0	79.1	
修正医業収支比率		87.1	83.2	74.9	
他会計繰入金対経常収益比率		7.6	11.5	17.0	
他会計繰入金対医業収益比率		8.3	13.7	21.8	
他会計繰入金対総収益比率		7.6	11.5	17.1	
実質収益対経常費用比率		88.4	85.4	79.2	

備考:

「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				山口県	
市町村・組合名		山陽小野田市			
病院名		山陽小野田市民病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	17,362㎡	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	15	指定病院の状況	救災輪		
許可公営企業		看護配置	10：1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上～200床未満		

特殊診療機能欄	ド…人間ドック	透…人工透析	I…ICU・CCU	未…NICU・未熟児室	訓…運動機能訓練室	ガ…ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄	救…救急告示病院	臨…臨床研修病院	が…がん診療連携拠点病院	感…感染症指定医療機関	へ…へき地医療拠点病院	災…災害拠点病院
	地…地域医療支援病院	特…特定機能病院	輪…病院群輪番制病院			

病床利用率・平均在院日数(％・日)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	199	80.6	66.9	71.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	199	80.6	66.9	71.3
平均在院日数(一般病床のみ)		13.5	15.7	15.3

貸借対照表(千円)				
区分		決算額		
資産合計		6,040,933		
1 固定資産		4,349,719		
(1) 有形固定資産		4,169,429		
(2) 無形固定資産		3,520		
(3) 投資その他の資産		176,770		
2 流動資産		1,691,214		
(1) 現金及び預金		893,812		
(2) 未収金及び未収収益		770,141		
(3) 貸倒引当金()		22,968		
(4) 貯蔵品		50,130		
3 繰延資産		-		
負債合計		6,061,989		
1 固定負債		4,863,049		
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債		3,608,324		
(2) その他の企業債		132,866		
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金		-		
(4) その他の長期借入金		-		
(5) 引当金		1,121,859		
(6) リース債務		-		
2 流動負債		918,000		
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債		366,385		
(2) その他の企業債		11,934		
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金		-		
(4) その他の長期借入金		-		
(5) 引当金		151,848		
(6) リース債務		-		
(7) 一時借入金		-		
(8) 未払金及び未払費用		369,535		
(9) 前受金及び前受収益		-		
3 繰延収益		280,940		
(1) 長期前受金		1,636,723		
(2) 長期前受金収益化累計額()		1,355,783		
(3) 繰延運営権対価		-		
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()		-		
(5) 運営権者更新投資		-		
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()		-		
資本合計		-21,056		
1 資本金		1,772,487		
2 剰余金		-1,793,543		
(1) 資本剰余金		1,130,371		
(2) 利益剰余金		-2,923,914		
負債・資本合計		6,040,933		
不良債務		-		
実質資金不足額		-		
資本不足額()		21,056		
資本不足額(繰延収益控除後)()		-		
備考				

損益計算書(千円・％)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	4,747,789			
1 経常収益	4,740,476			
(1) 医業収益	4,247,025			
(うち修正医業収益)	4,103,885			
入院収益	2,584,121			
外来収益	1,257,196			
診療収入計	3,841,317			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	405,708			
(うち他会計負担金)	143,140			
(2) 医業外収益	493,451			
(うち国・都道府県補助金)	76,940			
(うち他会計補助・負担金)	177,971			
(うち長期前受金戻入)	188,476			
(うち資本費繰入収益)	28,914			
(3) 特別利益	7,313			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	4,925,809			
2 経常費用	4,925,544			
(1) 医業費用	4,685,436			
職員給与費	2,528,906	59.5	58.7	67.7
材料費	934,908	22.0	26.9	18.3
(うち薬品費)	568,902	13.4	14.8	8.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	365,316	8.6	11.7	9.1
減価償却費	398,952	9.4	8.5	10.3
経費	806,671	19.0	21.5	29.4
(うち委託料)	540,807	12.7	11.5	13.6
研究研修費	7,149			
資産減耗費	8,850			
(2) 医業外費用	240,108			
(うち支払利息)	41,852	1.0	0.9	1.1
(3) 特別損失	265			
損益	経常損益	-185,068		
	純損益	-178,020		
累積欠損金	2,923,914			
経常収支比率	96.2		96.5	95.4
医業収支比率	90.6		86.0	79.1
修正医業収支比率	87.6		83.2	74.9
他会計繰入金対経常収益比率	6.8		11.5	17.0
他会計繰入金対医業収益比率	7.6		13.7	21.8
他会計繰入金対総収益比率	6.8		11.5	17.1
実質収益対経常費用比率	89.7		85.4	79.2

備考：	
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	321,111	321,111
資本勘定繰入	169,258	198,172
計	490,369	519,283

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(％)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(％)	68.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(％)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(％)	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				山口県	
市町村・組合名		周防大島町			
病院名		周防大島町立東和病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	10,186㎡	不採算地区中核病院			
診療科数	13	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	13：1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上～100床未満		

特殊診療機能欄	ド…人間ドック	透…人工透析	I…ICU・CCU	未…NICU・未熟児室	訓…運動機能訓練室	ガ…ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄	救…救急告示病院	臨…臨床研修病院	が…がん診療連携拠点病院	感…感染症指定医療機関	へ…へき地医療拠点病院	災…災害拠点病院
	地…地域医療支援病院	特…特定機能病院	輪…病院群輪番制病院			

病床利用率・平均在院日数					(%・日)
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度	
一般	45	41.1	30.6	46.1	
療養	54	58.4	70.2	59.4	
結核	-	-	-	-	
精神	-	-	-	-	
感染症	-	-	-	-	
計	99	50.5	52.2	53.3	
平均在院日数(一般病床のみ)		23.4	16.0	21.1	

貸借対照表					(千円)
区分				決算額	
資産合計				11,484,984	
1 固定資産				10,345,806	
(1) 有形固定資産				8,830,918	
(2) 無形固定資産				635	
(3) 投資その他の資産				1,514,253	
2 流動資産				1,139,178	
(1) 現金及び預金				528,586	
(2) 未収金及び未収収益				579,662	
(3) 貸倒引当金()				5,506	
(4) 貯蔵品				32,896	
3 繰延資産				-	
負債合計				7,747,551	
1 固定負債				5,199,788	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				3,604,632	
(2) その他の企業債				383,877	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				1,211,279	
(6) リース債務				-	
2 流動負債				1,134,441	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				629,289	
(2) その他の企業債				102,235	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				171,793	
(6) リース債務				-	
(7) 一時借入金				-	
(8) 未払金及び未払費用				204,566	
(9) 前受金及び前受収益				-	
3 繰延収益				1,413,322	
(1) 長期前受金				2,418,317	
(2) 長期前受金収益化累計額()				1,004,995	
(3) 繰延運営権対価				-	
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()				-	
(5) 運営権者更新投資				-	
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()				-	
資本合計				3,737,433	
1 資本金				5,582,014	
2 剰余金				-1,844,581	
(1) 資本剰余金				91,624	
(2) 利益剰余金				-1,936,205	
負債・資本合計				11,484,984	
不良債務				-	
実質資金不足額				-	
資本不足額()				-	
資本不足額(繰延収益控除後)()				-	
備考					
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。					

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	978,203	773,958
資本勘定繰入	255,433	-
計	1,233,636	773,958

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	85.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

- 修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
- 実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。
- 「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
- 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				山口県	
市町村・組合名		周防大島町			
病院名		周防大島町立大島病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	10,109㎡	不採算地区中核病院			
診療科数	11	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	10：1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上～100床未満		

病床利用率・平均在院日数					(%・日)
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度	
一般	39	78.7	76.6	78.9	
療養	60	73.0	72.5	73.9	
結核	-	-	-	-	
精神	-	-	-	-	
感染症	-	-	-	-	
計	99	75.2	74.1	75.9	
平均在院日数(一般病床のみ)		18.4	18.1	15.6	

貸借対照表					(千円)
区分				決算額	
資産合計				11,484,984	
1 固定資産				10,345,806	
(1) 有形固定資産				8,830,918	
(2) 無形固定資産				635	
(3) 投資その他の資産				1,514,253	
2 流動資産				1,139,178	
(1) 現金及び預金				528,586	
(2) 未収金及び未収収益				579,662	
(3) 貸倒引当金()				5,506	
(4) 貯蔵品				32,896	
3 繰延資産				-	
負債合計				7,747,551	
1 固定負債				5,199,788	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				3,604,632	
(2) その他の企業債				383,877	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				1,211,279	
(6) リース債務				-	
2 流動負債				1,134,441	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				629,289	
(2) その他の企業債				102,235	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				171,793	
(6) リース債務				-	
(7) 一時借入金				-	
(8) 未払金及び未払費用				204,566	
(9) 前受金及び前受収益				-	
3 繰延収益				1,413,322	
(1) 長期前受金				2,418,317	
(2) 長期前受金収益化累計額()				1,004,995	
(3) 繰延運営権対価				-	
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()				-	
(5) 運営権者更新投資				-	
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()				-	
資本合計				3,737,433	
1 資本金				5,582,014	
2 剰余金				-1,844,581	
(1) 資本剰余金				91,624	
(2) 利益剰余金				-1,936,205	
負債・資本合計				11,484,984	
不良債務				-	
実質資金不足額				-	
資本不足額()				-	
資本不足額(繰延収益控除後)()				-	
備考					
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。					

設立団体の状況		
人口(人)	14,798	
決算規模(千円)	15,546,287	
標準財政規模(千円)	9,776,329	
財政力指数	0.23	
経常収支比率(%)	115.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.9
	将来負担比率(%)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	783,662	538,599
資本勘定繰入	74,899	-
計	858,561	538,599

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	85.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

- 修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
- 実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。
- 「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
- 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

損益計算書					(千円・%)
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均	
総収益	1,988,809				
1 経常収益	1,987,143				
(1) 医業収益	1,447,074				
(うち修正医業収益)	1,314,424				
入院収益	769,852				
外来収益	491,054				
診療収入計	1,260,906				
繰延運営権対価収益	-				
運営権者更新投資収益	-				
その他医業収益	186,168				
(うち他会計負担金)	132,650				
(2) 医業外収益	540,069				
(うち国・都道府県補助金)	2,459				
(うち他会計補助・負担金)	405,949				
(うち長期前受金戻入)	30,224				
(うち資本費繰入収益)	-				
(3) 特別利益	1,666				
(うち他会計繰入金)	-				
総費用	2,096,472				
2 経常費用	2,096,472				
(1) 医業費用	1,819,119				
職員給与費	1,016,578	70.3	58.7	78.7	
材料費	322,378	22.3	26.9	14.5	
(うち薬品費)	214,708	14.8	14.8	7.7	
(うち薬品費以外の医薬材料費)	106,998	7.4	11.7	6.1	
減価償却費	123,570	8.5	8.5	11.8	
経費	350,069	24.2	21.5	32.3	
(うち委託料)	107,329	7.4	11.5	15.3	
研究研修費	2,890				
資産減耗費	3,634				
(2) 医業外費用	277,353				
(うち支払利息)	33,489	2.3	0.9	1.1	
(3) 特別損失	-				
損益	経常損益	-109,329			
	純損益	-107,663			
累積欠損金	-				
経常収支比率	94.8		96.5	96.4	
医業収支比率	79.5		86.0	72.4	
修正医業収支比率	72.3		83.2	68.2	
他会計繰入金対経常収益比率	27.1		11.5	24.2	
他会計繰入金対医業収益比率	37.2		13.7	34.4	
他会計繰入金対総収益比率	27.1		11.5	24.2	
実質収益対経常費用比率	69.1		85.4	73.0	

備考：

「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。